

あくしゅ



第 57 便

～院長より2018年度のご挨拶～



2018年4月に新年度を迎えあつという間に新緑の季節がやってきました。水生会は盆地の中にありますが、四方八方の山々が青一色では表現できない様々な色で賑わっ

ているのを感じながら、日々通勤しております。俳句の世界では、このような春の山の賑わいを「山笑う」と表現するようで、以前、萩の陶芸作家さんのもとへ遊びに行った際、「山が笑っちゃう」と実際に日常会話の中で使用されている方々の存在を知ってからというもの、私自身もこの季節になると「山が笑ってるなあ！」と感じながら過ごすようになり、とても新鮮な気持ちになり、私自身の顔も笑顔になって来るのを実感するようになっております。

このように、人は言葉で心が動くのだな、と考えると、心が動くと行動につながり、その行動は、さらには他の人に影響を与え、それが延々と繰り返されて、社会が出来上がっているのだと思い、院長就任一年が経過し、今まで以上に非常に多くの方々に関りを持つようになり、言葉はとても大切なものだと思改めて感じております。

この一年を振り返ってみると、初めての事が多くありすぎて非常に濃密な一年間であり、この紙面ではまとめきれませんが、一つ、何が最も大切で、大変なことであったかを振り返ると「人に物事を伝えること」であると考えています。私と患者さんの間、職員と患者さんの間、私と職員の間、職員と職員の間、法人と外部組織との間等々、その間には常に言葉を介し物事がすすめられますが、うまく伝えられないと人は動くことはなく、場合によっては支障をきたすこともあります。当たり前のことを言っているとは思いますが、この当たり前が、最も大切で、大変なことであると考えています。

2018年3月17日、18日に、縁あって、当法人のために新将命先生が研修をして下さる機会を頂くことができました。新先生は、シェル石油、日本コカ・コーラ、ジョンソン・エンド・ジョンソン、フィリップスなど世界の卓越した企業で社長職を経験された方であり、そのような先生が地方の中小法人に何を伝えてくれるのだろうか？研修を受けることで何を得られるのだろうか？と、実際にお会いする前までは、自分の中での何かしらの不安がありました。しかし、実際に研修を受けたところ、運営の方針やリーダーのあるべき姿は、組織の規模や業種や職種の垣根を超えるものであることを、ユーモアあふれる「言葉」を通じて、教えて頂きました。研修では、組織創りの流れ、人ザイについて、リーダーの能力、リーダーシップとは何かなど、一から教えて頂きましたが、組織を運営していくために最も重要なことは「理念」であるということを書いて頂きました。一言に「理念」と言ってもなかなか説明することは難しく、辞書を調べると「ある物事についての、こうあるべきだという根本の考え。」とありました。それでも、なかなか意味をとらえることは難しく、web上で調べていくと「企業が事業を通じて社会にどのような貢献をしようとしているのか、どのような価値観や規範に基づいて事業を行おうとしているのか、などを示すもの。経営戦略の上位概念とされる。」とありましたが、なかなかこれを覚えて説明することは、難しく、自分なりに噛み砕いて説明するとすれば、「理念とは、ある集団が、同じ方向に進んでいくための目印」と解釈するようになっております。

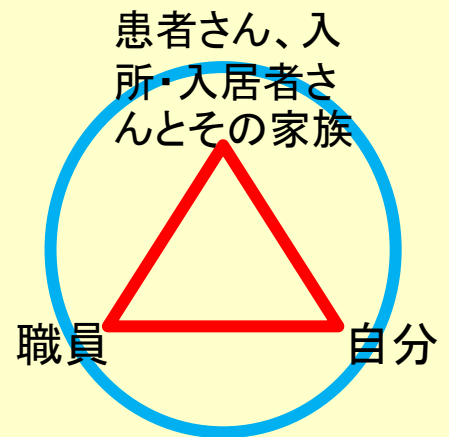
当法人は、基本理念として、「**私たちは利用者の人間性を尊重し、保健と医療と福祉の研鑽につとめ、地域社会に貢献します。**」を掲げております。

実のところ、新先生にお会いするまで、この理念としっかりと向き合うことはなく、理念を形骸化したもののようにとらえていた自分がいることに気づかされました。



基本理念と一行ずつ向き合ってみると
 一行目：**私たちは利用者の人間性を尊重し、利用者**とは、まずは、患者さん、入所・入居者さんとその家族であり、また職員や業者の方、そして自分自身が含む関係性のことだと考えられるようになり、

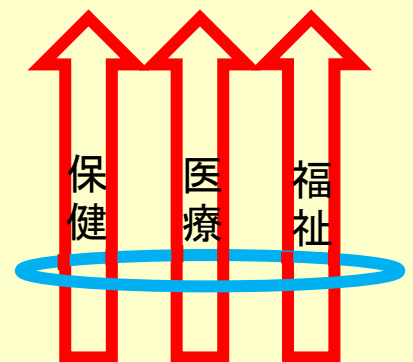
人間性を尊重するとは、その人らしさを尊いものとして重んずること、つまり**和**をもつこと。
私たちとは、水生会に関わる全ての方のことを指すものだと考えるようになっております。
 以上のことをイメージ化すると右図のようになりますと考えています。



「近江商人」三方よしに通ずる

二行目：**保健と医療と福祉の研鑽**につとめ、

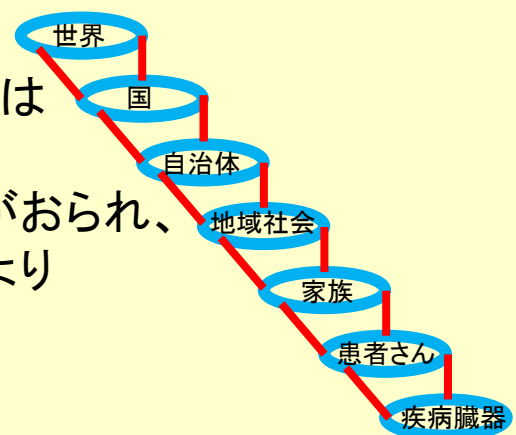
保健：健康を保つこと
医療：医術・医薬で病気やけがを治すこと
福祉：公的扶助により幸福な環境を作り出すこと
研鑽：学問などを深く究めること
 保健と医療と福祉の三本の矢を磨き上げることがイメージ化すると右図のようになります。



「毛利元就 三矢の誓い」に通ずる

三行目：**地域社会に貢献**します。

地域社会とは、ある一定の地域に住む人々から成る社会のこととされますが、その社会は世界にも通じており、地域社会を構成する最小集団は家族であり、そこには患者さんがおられ、その患者さんには**疾病臓器**があったことにより当法人を利用されることとなります。



貢献とは、物事や社会に力を尽くして、よい結果をもたらすこと

地域社会をイメージ化すると右図のようになります
「ベルタランフィ 一般システム理論」に通ずる

以上、理念をイメージ化することで、

水生会に関わる全ての人が、いつでも、どこでも、だれでも、理念を意識し、自分が理念に基づいて、日々実行できているかを確認することができるようにしていきたいと考えております。

水生会は、2018年3月10日に40周年を迎えました。40年間運営できているのは、当法人の利用者全ての方々の支えがあってからこそであり、感謝の気持ちをもって、これからもこの地域に潤いをもたらすことができるよう邁進していきたいと思います。

団塊の世代が75歳を迎える2025年問題がニュースでも日々騒がれており、疾病構造も変化しており、医療費の増大問題により、国からは、質が高く、効率的な医療介護の提供体制を構築することを強く求められています。

激動の変化が訪れる時代の中で、当法人は、基本理念である

『私たちは利用者の人間性を尊重し、
保健と医療と福祉の研鑽につとめ、
地域社会に貢献します。』



を忠実に実行していき、変化に対し、素早く確実に笑顔をもって対応していく所存です。

『一致協力！在宅復帰実現社会を創造する』を今後5カ年計画の経営目標に掲げ、日々業務に取り組んで参りますので、今後ともご支援ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

柴田病院外来診療担当医表

診療科	時間	月	火	水	木	金	土
大腸肛門病センター 外科・整形 (第2診)	午前	柴田 眼治 (柴田 大明) 【受付11:00まで】	柴田 眼治 (柴田 大明) 【受付11:00まで】	兼清 信介	柴田 眼治 (柴田 大明) 【受付11:00まで】	柴田 大明	武田 茂 【代診の場合】 【柴田 大明】
	午後	病棟回診	病棟回診	兼清 信介	病棟回診	武田 茂	
内科 (第1診)	午前	佐藤 亮太 (神経内科)	塚本 勝彦 (一般内科)	塚本 勝彦 (一般内科)	塚本 勝彦 (一般内科)	塚本 勝彦 (一般内科)	塚本 勝彦 (一般内科)
	午後	佐藤 亮太 (神経内科)15時まで 柴田 大明 (内科・消化器内科)15時から	塚本 勝彦 (一般内科)	塚本 勝彦 (一般内科) 【診療開始14:30から】	病棟回診	塚本 勝彦 (一般内科) 【受付15:00まで】	
消化器内科 (第3診)	午前	佐田 英明 (内科・糖尿病外来)	中村 文美 (放射線科・エコー・内視鏡)	柴田 大明 (内科・消化器内科)	前田 雅喜 (消化器内科・エコー・内視鏡)	小室 あゆみ (循環器内科)	
	午後	佐田 英明 (内科・糖尿病外来)	柴田 大明 (内科・消化器内科)	柴田 大明 (内科・消化器内科)	病棟回診	小室 あゆみ (循環器内科)	
眼科	午前	大藤 圭子	西田 輝夫 【毎月第2,第4週】 【ドライアイ専門外来】	大藤 圭子	大藤 圭子	大藤 圭子	
	午後	大藤 圭子 【受付16:30まで】	大藤 圭子 【受付16:30まで】	大藤 圭子 【診療開始14:30から】 【受付16:30まで】		大藤 圭子 【受付16:30まで】	

※ 診療時間 ※ (受付時間内にお越し下さい。)

平日 9:00~12:30 受付時間~12:00

土曜日 9:00~13:00 受付時間~12:30

手術のため受付時間を変更することがございます

リハビリ治療・物療(電気治療)の実施時間は、木曜日と土曜日の午後を除いた診療時間内です。【物療(電気治療)の午後の受付は17時まで】

電話番号
083-927-2800

水生会Webサイト
<http://www.sulseikai.org>